

ロンドン、2017年8月1日

トルコのチェムタシュ社から棒鋼圧延設備の近代化工事を追加受注

- 新設備で生産性と歩留を向上
- 熱間分割せん断機により、長尺の 200 mm 角ビレットが加工材料として使用可能に
- 砥石式丸鋸切断機により、従来より幅広い列の棒鋼が切断可能に
- 結束・荷造りを手動から自動運転システムに置換

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited) は、トルコの鉄鋼メーカーであるチェムタシュ社 (Çelik Makina Sanayi ve Ticaret A.Ş. : Çemtaş、鉄鋼機械産業貿易有限会社の意、) より、トルコ北西部のブルサ市にある同社の棒鋼圧延設備の近代化工事を追加受注しました。この近代化工事は 2017 年第 4 四半期に完工予定です。

プライメタルズ テクノロジーズはチェムタシュ社より、2014 年初めに棒鋼圧延設備の近代化工事第 1 フェーズを受注しており 2016 年 10 月に最終検収書 (FAC) を受領しましたが、今回のプロジェクトは近代化計画第 2 フェーズの一環であり、摺動型可逆式粗圧延スタンドと中間列圧延機を納入し、既設の仕上圧延設備の近代化も担当します。

本設備は直径 15 mm~100 mm の丸棒や、幅 46 mm~140 mm、厚さ 5.5 mm~ 62 mm の平鋼といった長尺製品を年間 20 万トン製造できるよう設計されており、自動車産業や建設業など幅広い用途向けに、ばね鋼、高炭素/低炭素鋼、表面硬化用熱処理可能鋼種、HSLA 鋼 (高強度低合金)、快削鋼、ボロンマイクロアロイ鋼、軸受鋼、ステンレス鋼といった鋼種が生産可能です。

今回のプロジェクトでは分割せん断システムとハンドリングシステムを新設する予定で、新設の熱間分割せん断機によって生産ラインでは長尺の 200 mm 角ビレットを加工原料として使用できるようになる一方、新設の砥石式丸鋸切断機によって切断できる棒鋼の列幅が拡大されます。また、結束および梱包

用のシステムを手動から自動運転に交換するなど、これらの近代化による既設システムの効率的利用で、生産能力の増大が実現されます。

既存のせん断機は、高い切断能力を有する丸棒・平鋼用の新しい熱間分割せん断機に交換されますが、生産ラインで長尺の 200 mm 角ビレットを加工原料として使用できるようになるため、再加熱炉の生産性が向上し、圧延製品の最終歩留が向上します。また、新設のせん断機は、切断作業ごとに始動・停止する直動式の駆動装置を備え、高い再現性のある切断精度を達成して歩留が向上するほか、シンプルな機構配置によってメンテナンスが低減され、サイクルタイムの短縮によって冷却床の長さ設定が容易になります。

新設の砥石式丸鋸切断機も丸棒・平鋼用に設計されています。既設のローラーテーブルは最大 1000 mm 幅まで棒鋼を並べられますが、既存の切断機は直径 850 mm の丸鋸を使用しているため、実際に切断できるのは最大 750 mm 幅までとなっています。新設の砥石式丸鋸は最大直径 1,250mm を有しているため、ローラーテーブルの全幅を使用して最大 1,000mm 幅まで並べられた棒鋼を一度に切断可能で、生産能力向上の課題となっていたポイントが解消されます。

工場のホール A に設置された手動制御の第 2 荷造り装置は、丸棒・平鋼用の自動結束・荷造り装置と交換されます。この装置で荷造りされた製品は、自動スタッカーの下流にある水平・垂直ローラーテーブルにより、2 基の自動ストラッピング機と 1 基のワイヤー結束機を備えた結束作業エリアに搬送されます。このスタッキングシステムは平鋼も扱うことができるため、きちんとした荷姿に規則正しく積み上げられることにより、容易で迅速な保管とハンドリング操作が可能です。

プライメタルズ テクノロジーズは、主機及び補助用の駆動機構とモーター、ベーシックオートメーション（レベル 1）、既設の圧延機オートメーションとのインターフェイス、新設機器用メカトロニクスのパッケージの納入に加えて、プロセス機器一式のエンジニアリングと納入機器の設計を担当し、さらに建設、操業開始、試運転、トレーニングに関する助言サービスも担当します。

プライメタルズ テクノロジーズはさらに現在、ブルサ工場の電極式電気炉の近代化工事も実施中で、溶融時間の短縮により、電極、電気、酸素、炭素の消費量が削減されます。



プライメタルズ テクノロジーズの高品質平鋼向け砥石式切断機。同型のシステムをトルコ・ブルサにあるチェムタシュ社の棒鋼圧延設備に据付予定。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。

www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 総務部
〒108-0014 東京都港区芝五丁目 34 番 6 号 新田町ビル 9 階
TEL(03) 5765-5231

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国、ロンドンに置き、金属鉄鋼産業にとって、エンジニアリングやプラント建設全般の、世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供します。鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野部門にも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工グループで、株式会社日立製作所、並びに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足しました。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。 公式ウェブサイト:

www.primetals.com

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumlija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom